NO. 2014. 40 号
発行日：2014 年 08 月 25 日

検査のパレット

今回はペースメーカーの種類別表示方法についてお話します。

前回お話ししたペースメーカーの刺激・感知・抑制・同期の機能を表すため以下の略号が用いられます。

1 文字目	2 文字目	3 文字目	（4 文字目）
刺激部位	感知部位	応答様式	ﾚｰﾄﾚｽﾎﾟﾝｽ
A：心房	A：心房	I：抑制	（R）
V：心室	V：心室	T：同期	
D：心房と心室	D：心房と心室	D：抑制と同期	
O：なし	O：なし	O：なし	

表記と機能の関連を以下に示します。

	刺激部位：心房	刺激部位：心室	刺激部位：心房・心室
感知部位：心房	**AAI**：自発Ｐ波があると心房への刺激を抑制する AAT：自発Ｐ波があるとすぐに心房を刺激する	VAT：自発P波に同期させて心室を刺激する	DAT：DAA と同じ DAD：AAI＋VAT
感知部位：心室		**VVI**：自発ＱＲＳ波があると心室への刺激を抑制する VVT：自発ＱＲＳ波があるとすぐに心室を刺激する	DVI：心房・心室順次刺激するが　自発ＱＲＳ波があると心室への刺激を抑制する
感知部位：心房・心室		**VDD**：VAT＋自発ＱＲＳ波があると心室への刺激を抑制する VDT：VAT＋VVT	**DDD**：AAI＋VVI＋VAT DDI：DVI＋自発Ｐ波で心房への刺激を抑制
感知部位：なし	AOO：固定レートで心房を刺激	VOO：固定レートで心室を刺激	DOO：固定レートで心房・心室を刺激

一般的に使用されているタイプは、**AAI・VVI・VDD・DDD** で医師が病態により選定します。最近は心不全を治療する特殊なペースメーカーもあり、リード 3 本で右心房・右心室・左心室に接するタイプ、また、除細動機能のついたタイプもあるそうです。

今後とも検査室をよろしくお願いします。

文責：藤谷　恵子　　監修：石竹　久仁